

3年度 教育活動に関するアンケート集計表(全生徒)

それぞれの項目を読んで、A～Cのどれかに○をつけてください。(分からないところは空欄でかまいません) Aとてもそう思う、Bややそう思う、Cあまりそう思わない、Dそう思わない

問 No.	質問内容	回答人数				回答数	%				元年度 達成度	2年度 達成度	3年度 達成度	元対2	2対3
		A	B	C	D		A	B	C	D					
1	あなたは、学校生活が楽しい。	201	271	57	19	548	36.7	49.5	10.4	3.5	85.7	84.7	79.8	-1.0	-4.8
2	あなたは、目標を持って学校生活を送っている。	101	263	150	33	547	18.5	48.1	27.4	6.0	74.9	73.9	69.7	-1.0	-4.2
3	あなたは、あいさつがしっかりできている。	194	275	69	10	548	35.4	50.2	12.6	1.8	84.5	81.1	79.8	-3.4	-1.3
4	あなたは、健康や安全に気をつけて行動している。	212	249	77	10	548	38.7	45.4	14.1	1.8	84.7	84.9	80.2	0.2	-4.6
5	あなたは、時間を守った行動ができている。	134	329	77	8	548	24.5	60.0	14.1	1.5	82.2	83.1	76.9	0.9	-6.2
6	あなたは、きまりを守って生活している。	226	269	48	6	549	41.2	49.0	8.7	1.1	88.1	86.7	82.6	-1.4	-4.1
7	あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。	189	280	68	10	547	34.6	51.2	12.4	1.8	80.5	82.1	79.6	1.6	-2.5
8	あなたは、学習に積極的に取り組んでいる。	141	292	98	16	547	25.8	53.4	17.9	2.9	78.1	78.8	75.5	0.7	-3.3
9	あなたは、授業で必要に応じて自分の考えを発表できる。	92	208	203	44	547	16.8	38.0	37.1	8.0	69.0	67.6	65.9	-1.3	-1.7
10	あなたは、学校行事で自分の力を発揮できている。	144	245	133	22	544	26.5	45.0	24.4	4.0	77.8	76.7	73.5	-1.1	-3.2
11	あなたは、部活動や生徒会活動に積極的に参加している。	227	211	77	33	548	41.4	38.5	14.1	6.0	81.2	82.1	78.8	0.9	-3.3
12	あなたは、思いやりをもって人や物に接することができる。	223	263	55	6	547	40.8	48.1	10.1	1.1	84.9	85.8	82.1	0.9	-3.6
13	いじめや仲間はずれのない学級、学年、学校になっている。	169	237	96	43	545	31.0	43.5	17.6	7.9	69.9	79.7	74.4	9.7	-5.2
14	先生は、自分のことをよく理解しようとしている。	121	279	117	31	548	22.1	50.9	21.4	5.7	76.2	78.3	72.4	2.1	-6.0
15	先生たちは、生徒の意欲が持てるように授業での教え方を工夫している。	135	318	72	22	547	24.7	58.1	13.2	4.0	79.5	78.8	75.9	-0.7	-2.9
16	谷口中学校は、自分にとって魅力ある学校である。	116	257	128	45	546	21.2	47.1	23.4	8.2	76.1	75.0	70.3	-1.1	-4.6

★達成度は次のように算出しています

達成度 = (Aと回答した人数 × 4 + Bと回答した人数 × 3 + Cと回答した人数 × 2 + Dと回答した人数 × 1) / (総回答者数 × 4) × 100

生徒アンケート分析

本年度は、全ての項目において昨年度を下回る結果となった。しかし、達成度を見ると、70ポイントを下回っているのは、No.2「あなたは、目標を持って学校生活を送っている。」とNo.9「自分の考えを発表できる」という項目である。No.2については、コロナ禍のために活動が制限された中で、自分のやりたいことが見つけられずに暗中模索していたためと考えられる。No.9については、ガイドラインに沿った授業を進めていたため、生徒たちに発表の機会が多くはなかったためと考えられる。また、No.13「いじめや仲間はずれのない学級、学年、学校になっている」やNo.14「先生は自分のことをよく理解しようとしている」については、-5～-6ポイントという厳しい結果となっており、より一層の生徒理解、授業研究に努めなくてはならない。生徒たちが、自己有用感や自己肯定感を感じられるような教育活動の実践に努めていきたい。